



平成26年度 草の根・人間の安全保障無償資金協
力「ラ・チョレラ市児童支援施設整備計画」
引渡式

2015年11月17日、西パナマ県ラ・チョレラ市内において、「ラ・チョレラ市児童支援施設整備計画」の引渡式が行われ、磯部大使をはじめ、テミストクレス・エレラ西パナマ県知事及びトマス・ベラスケス・ラ・チョレラ市長、ホセ・マヌエル・パレデス「シウダ・デル・ニーニョ支援財団」代表他関係者が式典に出席しました。

児童支援施設「シウダ・デル・ニーニョ」は、1968年より恵まれない児童に尊厳のある生活を与え、社会的自立を促すことを目指し運営されています。同施設では、利用者である5歳から17歳までの寄宿児童約160人とデイ・サービス利用の児童約100人を対象として、教育、職業訓練等のプログラムが実施され、また、児童の親を対象としたワークショップも行われています。

今般、日本政府は、築47年以上で劣化が深刻であった寄宿舍2軒と支援センターの屋根の改修を行い、同時に、各施設の家具と機材を新たに整備しました。

今回の供与が、2008年に同スキームで建設された歯科・小児科診療室とともに、同施設を利用する児童の基本的な人権を守ることに貢献することを期待しています。

【供与額：37,235ドル】



出席者との集合写真



児童による歌の披露



記念プレートの除幕



供与されたベッド